

商品名 スタレボ配合錠L50 医薬品基本情報

薬効	1169 その他の抗パーキンソン剤	一般名	レボドパ・カルビドパ水和物・エンタカポン（1）錠
英名	Stalevo	剤型	錠
薬価	79.10	規格	1錠
メーカー	オリオンファーマ・ジャパン	毒劇区分	

スタレボ配合錠L50の効能・効果

パーキンソン病

スタレボ配合錠L50の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、横紋筋融解症又はその既往、悪性症候群又はその既往、閉塞隅角緑内障	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 肝障害	記載場所	用法・用量
	注意レベル	慎重投与
3. 閉塞隅角緑内障又はその恐れ・疑い、褐色細胞腫、パラガングリオーマ、胃潰瘍又はその既往、十二指腸潰瘍又はその既往、重篤な心疾患又はその既往、気管支喘息、肺疾患、内分泌系疾患、糖尿病、慢性開放隅角緑内障、精神症状、自殺傾向を伴ううつ病、腎障害、肝障害又はその既往、麦角系ドパミン作動薬を併用、起立性低血圧を引き起こすおそれのある薬剤服用中	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

スタレボ配合錠L50の副作用等

1. ドパミン作動性副作用、ジスキネジー	記載場所	用法・用量
	頻度	頻度不明
2. 傾眠、幻覚	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
3. 横紋筋融解症、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、急性腎障害、錯乱、抑うつ、胆汁うっ滞性肝炎、肝機能障害、溶血性貧血、血小板減少、急激な眼圧上昇、閉塞隅角緑内障、霧視、眼痛、充血、頭痛、嘔気	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

4. 悪性症候群、高熱、意識障害、昏睡、運動症状、高度筋硬直、ミオクローヌス、振戦、不随意運動、精神状態変化、激越、錯乱、ショック状態、自律神経機能異常、頻脈、不安定血圧、CK上昇、横紋筋融解症、急性腎障害、突発的睡眠、幻視、幻聴	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満
5. 不眠症、ジスキネジー、ジストニー、便秘、悪心、着色尿、貧血	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
6. 発疹、紅斑性皮疹、斑状丘疹状皮疹、蕁麻疹、紫斑、皮膚変色、毛髪変色、髭変色、爪変色、汗変色、脱毛症、血管浮腫、激越、精神病、衝動制御障害、病的賭博、リビドー亢進、性欲過剰、易刺激性、失見当識、自殺企図、ドパミン調節障害症候群、失神、回転性めまい、運動低下、オンオフ現象、精神的機能障害、記憶障害、認知症、感覚鈍麻、霧視、視力障害、鼓腸、大腸炎、腹部不快感、嚥下障害、食欲減退、口内乾燥、腹部膨満、流涎過多、口内炎、胃腸出血、心拍数不整、動悸、不整脈、虚血性心疾患、狭心症、心筋梗塞、尿閉、排尿異常、顆粒球数減少、疲労、無力症、歩行障害、胸痛、浮腫、筋痙縮、細菌感染、尿路感染、血清鉄減少、血圧上昇、DNA抗体陽性、ほてり、発声障害、唾液変色、痰変色、口腔内粘膜変色、便変色	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
7. 多汗症、悪夢、妄想、不安、病的性欲亢進、異常な夢、頭痛、浮動性めまい、体位性めまい、味覚異常、運動過多、振戦、上腹部痛、下痢、体重減少、胃不快感、食欲不振、嘔吐、レッチング、消化不良、胃炎、腹痛、AST増加、ALT増加、γ-GTP増加、尿潜血陽性、頻尿、BUN上昇、ヘモグロビン減少、白血球数減少、赤血球数減少、白血球数増加、ヘマトクリット減少、鉄欠乏性貧血、けん怠感、末梢性浮腫、口渇、関節痛、筋肉痛、背部痛、筋痙攣、CK増加、LDH増加、ALP増加、血圧低下、起立性低血圧、高血圧、転倒、呼吸困難	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
8. 溶血性貧血、血小板減少	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
9. 不整脈	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
10. 重度ジスキネジー、悪性症候群、横紋筋融解症、悪性症候群様症状、自殺傾向、うつ病、重篤な反社会的行動、精神状態変化、幻覚、精神病、病的賭博、持続的にギャンブルを繰り返す状態、病的性欲亢進、強迫性購買、暴食、衝動制御障害、ドパミン調節障害症候群、高血圧クリーゼ、ジスキネジー、催奇形性、胎仔骨化遅延、乳汁分泌抑制、激越、錯乱、昏睡、徐脈、心室性頻脈、チェーン・ストークス呼吸、皮膚変色、舌変色、結膜変色、着色尿、活動性低下、傾眠、蕁麻疹、線維性合併症、悪性黒色腫	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

スタレボ配合錠L50の相互作用

1. 薬剤名等：薬物代謝酵素CYP2C9により代謝される薬剤	
発現事象	-
理由・原因	エンタカポンは薬物代謝酵素CYP2C9を阻害
2. 薬剤名等：COMTにより代謝される薬剤	

投与条件	-
指示	注意

発現事象	不整脈、血圧変動、心拍数増加	投与条件	-
理由・原因	カテコール基を有するこれらの薬剤はCOMTにより代謝されるが、エンタカポンはこれらの薬剤の代謝を阻害し、作用を増強	指示	注意

3. 薬剤名等：選択的MAO-B阻害剤

発現事象	血圧上昇	投与条件	-
理由・原因	選択的MAO-B阻害剤は用量の増加とともにMAO-Bの選択的阻害効果が低下し、非選択的MAO阻害による危険性があるため、本剤との併用により、生理的なカテコールアミンの代謝が阻害	指示	注意

4. 薬剤名等：ワルファリン

発現事象	AUCを18%増加、プロトロンビン比<INR値>を13%増加	投与条件	-
理由・原因	エンタカポン	指示	注意

5. 薬剤名等：鉄剤

発現事象	効果が減弱	投与条件	-
理由・原因	本剤は消化管内で鉄とキレートを形成	指示	注意

6. 薬剤名等：レセルピン製剤

発現事象	脳内ドパミンが減少し本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	脳内ドパミンを減少させてパーキンソン症状を悪化	指示	注意

7. 薬剤名等：テトラベナジン

発現事象	脳内ドパミンが減少し本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	脳内ドパミンを減少させてパーキンソン症状を悪化	指示	注意

8. 薬剤名等：血圧降下剤

発現事象	血圧低下作用が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤と血圧降下剤の併用により相加的血圧低下が起こる	指示	注意

9. 薬剤名等：フェノチアジン系薬剤

発現事象	本剤の作用が減弱されパーキンソン病症状が悪化	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤によりドパミン受容体が遮断	指示	注意

10. 薬剤名等：ブチロフェノン系薬剤

発現事象	本剤の作用が減弱されパーキンソン病症状が悪化	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤によりドパミン受容体が遮断	指示	注意

11. 薬剤名等：抗パーキンソン剤

発現事象	精神神経系の副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	それぞれの薬剤で精神神経系の副作用が報告	指示	注意

12. 薬剤名等：NMDA受容体拮抗剤

発現事象	本剤の作用を増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤により、ドパミン遊離が促進	指示	注意

13. 薬剤名等：パパベリン

発現事象	本剤の作用が減弱されパーキンソン病症状が悪化	投与条件	-
理由・原因	パパベリンが線条体でのドパミン受容体を遮断、パパベリンがアドレナリン作動性神経小胞でレセルピン様作用を示す	指示	注意

14. 薬剤名等：イソニアジド

発現事象	本剤の作用が減弱されパーキンソン病症状が悪化	投与条件	-
理由・原因	イソニアジドによりドパ脱炭酸酵素が阻害	指示	注意

15. 薬剤名等：イストラデフィリン

発現事象	ジスキネジーの発現頻度の上昇	投与条件	-
理由・原因	エンタカポン	指示	注意

16. 薬剤名等：スピラマイシン

発現事象	レボドパの血中濃度が低下し本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	カルビドパの吸収が阻害	指示	注意

17. 薬剤名等：麦角系ドパミン作動薬を併用

発現事象	線維性合併症	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

18. 薬剤名等：起立性低血圧を引き起こすおそれのある薬剤服用中

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	本剤は起立性低血圧を誘発	指示	注意

19. 薬剤名等：高蛋白食

発現事象	レボドパの吸収が低下	投与条件	-
理由・原因	レボドパは特定のアミノ酸と競合	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.